



霧島市国際交流協会 10周年 記念誌

The History of The Kirishima City International Exchange Association



設 立 目 的

市民レベルにおける国際交流活動を推進し、
諸外国との相互理解や友好親善を深めることにより、
国際性豊かな人材の育成を図るとともに国際化に対応した
まちづくりに寄与することを目的とする

目 次

会長・市長あいさつ	1
1 霧島市国際交流協会のあゆみ	2
2 青少年海外派遣・受入事業等	
・派遣・受入写真	18
・これまでの派遣・受入一覧	23
・派遣関係者からの寄稿	24
・マレーシアマラッカ市セントフランシス学院からのメッセージ ...	26
・青少年海外派遣事業の検証	27
・派遣生OB・OGからの 「経験してよかったこと」「後輩へのメッセージ」 「今後の青少年海外派遣や国際交流へ期待すること」 ...	28
・平成30年度 市長・議長のマレーシア等訪問について ...	31
3 霧島市国際交流協会設立10周年記念事業 アメリカ訪問 ...	32
4 霧島市国際交流員からのメッセージ	34
5 交流都市からのメッセージ	36
6 役員・法人会員一覧	38



会長あいさつ

霧島市国際交流協会長
末 廣 浩 二

霧島市国際交流協会は2008年4月に設立され、今年度で10周年を迎えました。

これもひとえに、地域の皆様、歴代の役員、会員及びボランティアの皆様、霧島市をはじめとする関係者各位の多大なるご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

この冊子は、当協会の10年にわたる歩みを記録したもので、これまでに実施した事業を紹介しております。具体的な例をあげますと、青少年海外派遣事業においては、これまでに233名もの小・中・高校生を世界11都市へ派遣しております。また、国際親善レガッタや国際親善ナンコ大会をはじめとする各種イベントにおいては、2,674名に参加いただき、地域住民と外国人との交流の場を提供しております。さらに、霧島市の姉妹都市であるアメリカカリフォルニア州ソノラ市、友好交流都市である中国陝西省銅川市耀州区、湖南省瀏陽市、交流都市である中国上海市嘉定区、マレーシアマラッカ市、韓国釜山広域市との交流も継続して行っております。

2019年4月には改正出入国管理法の施行、そして2020年には東京オリンピック開催など、ますますグローバル化が広がり、今まで以上に多くの外国人が日本を訪れることが予想されます。霧島市の在住外国人数も現在、約650名とここ5年で倍増しており、地域の国際化への対応がより一層求められる時代になってまいりました。

この10周年という節目を機に、国際化に対応したまちづくりに寄与するという当協会の設立目的に立ち返り、多くの外国人と共存・共生できる地域社会の実現のため、なお一層努力して参りますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



市長あいさつ

霧島市長
中 重 真 一

霧島市国際交流協会設立10周年、誠におめでとうございます。

昨今、高齢化や人口減少の進展に伴う担い手不足や、個人の価値観やライフスタイルの変化に伴う市民ニーズの多様化・複雑化などにより、行政が担ってきた公共サービスを維持することは困難な状況になっています。

このような中、霧島市は、市民一人ひとりが、様々な主体との連携により、相互に補完し合いながら、市民主体のまちづくりを展開するとともに、グローバル化の進展を踏まえ、国内外の姉妹都市等との交流を通じ相互理解を深め、国際的に活躍できる人材の育成を図っております。

このようなことから、本市では、霧島市国際交流協会と連携をし、友好交流都市をはじめとするアジア諸国など多くの都市との交流を展開することにより、市民が海外の文化に触れ、理解を深める機会を増やすとともに、青少年海外派遣事業等を実施し、国際的な視野を持つグローバル人材の育成や交流の輪の拡大を図っているところであり、これまで本市の国際交流の推進にご貢献いただいている霧島市国際交流協会に対し、深く感謝申し上げます。

さて昨年は、訪日外国人旅行者数、在留外国人、就労外国人はそれぞれ過去最多を記録しました。また国においては、新たな在留資格を創設し、今年の4月から施行されます。

外国人との共生をめぐる状況は絶えず変化し続けていくものでありますが、今後におきましても、本市における国際交流の推進について、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1

霧島市国際交流協会のあゆみ

【設立までの経緯】

- 平成元年 2 月 7 日 国分市国際交流協会設立
- 平成 6 年 5 月 14 日 隼人町国際交流協会設立
- 平成 17 年 11 月 7 日 霧島市合併
- 平成 18 年 9 月 27 日 国際交流協会設立準備会の発足に係る意見交換会を開催
・国分市・隼人町両国際交流協会の合併について全員賛成、両協会だけでなく、霧島市内全ての国際交流事業団体等について参加を呼びかけていくという確認がされた。
- 平成 18 年 10 月 18 日 ワーキンググループ会議開催 その後数回開催
- 平成 20 年 2 月 18 日 ワーキンググループ会議において「国分市・隼人町両国際交流協会を解散し、両協会長が設立発起人となり霧島市全域に参加を呼びかける」との結論を得る。
- 平成 20 年 4 月 7 日 国分市国際交流協会解散 隼人町国際交流協会解散

年度	月	日	内 容
20	4	7	霧島市国際交流協会設立総会 (69 名出席)
		9	中国陝西省銅川市耀州区友好訪日団来市 衛生施設等の視察 ～ 11 日 (訪問団 8 名)
	5	15	第 1 回理事会 (15 名出席) 第 2 回は 11 月 20 日 (12 名出席)、 第 3 回は平成 21 年 3 月 19 日開催 (16 名出席)
		7	8 青少年海外派遣生壮行会 (125 名出席)
	7	20	青少年海外派遣生ラオスへ出発 ～ 27 日 (派遣生 1 名)
		22	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～ 8 月下旬 (派遣生 14 名)
		24	
	8	25	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～ 9 日 (派遣生 11 名)
		2	
	9	7	国際親善レガッタ (96 名参加～ CIR・ALT・留学生 34 名、協会員等 10 名、ヨットクラブ 47 名、事務局 5 名)
		25	青少年海外派遣生帰国報告会 (76 名出席)
	10	11	中国湖南省瀏陽市訪問団歓迎会 (訪問団 9 名)
		14	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団歓迎会 (訪問団 3 名)
		19	きりしま隼人浜下り (10 名参加～留学生 6 名、日本人学生 2 名、事務局 2 名)
		8	霧島ふるさと祭
	11	9	
		18	学生ボランティアとの意見交換会 (23 名参加)
	12	14	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (85 名参加～外国人 23 名、スタッフ・協会員等 62 名)
		2	初午祭 (24 名参加 うち外国人 6 名)
	2	15	国際親善ナンコ大会 (44 名参加 うち外国人 21 名)
		20	中国派遣結団式
		3	7
	3	28	海外派遣団中国へ出発 ～ 4 月 1 日 (派遣団 9 名～派遣生 4 名、一般 5 名)
21	4	8	中国上海市嘉定区政府訪日団来市 (訪問団 6 名)
		20	霧島市国際交流協会総会 (47 名出席)



霧島市国際交流協会設立総会／平成20年度



青少年海外派遣生帰国報告会／平成20年度



中国湖南省瀏陽市訪問団歓迎会／平成20年度



マレーシアマラッカ市セントフランシス学院
先生訪問団歓迎会／平成20年度



霧島ふるさと祭／平成20年度



海外派遣団中国へ到着／平成20年度



国際親善レガッタ／平成21年度



ネイティブ合宿／平成21年度

年度	月	日	内 容
21	5	15	第1回理事会（14名出席） 第2回は11月25日（12名出席）、 第3回は平成22年2月17日開催（13名出席）
		15	第1回派遣事業・国内対応委員会 第2回は22日、第3回は7月23日、 第4回は10月1日、第5回は平成22年1月27日開催
	7	13	第1回イベント事業サポート委員会 第2回は平成22年1月25日開催
	8	4	第1回総務・広報委員会 第2回は平成22年1月29日開催
	9	6	国際親善レガッタ（122名参加～CIR・ALT43名・留学生3名、協会員等17名、ヨットクラブ54名、事務局5名）
	10	10	第1回ネイティブ合宿～English Camp～ ～12日（11名参加～中学生9名・高校生2名）
		18	きりしま隼人浜下り（16名参加～留学生8名、日本人学生4名、事務局4名）
		19	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団来市（訪問団5名）
	11	1	国際交流ハイキング 霧島ジオツアー（20名参加～外国人4名、協会員9名、事務局5名、ガイド2名）
		29	国際交流の集い～世界の味ランチ～（70名参加～外国人30名、協会員・事務局・ボランティアスタッフ等40名）
	2	5	国際親善ナンコ大会（40名参加～外国人16名、協会員等20名、事務局4名）
	3	7	初午祭（20名参加～外国人8名、協会員・一般・事務局12名）
		13	中国派遣結団式
		21	龍馬ハネムーンウオーク（16名参加～外国人7名、協会員・一般・事務局9名）
		27	海外派遣団中国へ出発 ～31日（派遣団5名～派遣生4名、引率・事務局1名）
			*「青少年海外派遣事業」は新型インフルエンザ発生のため中止
22	4	22	霧島市国際交流協会総会（51名出席）
	5	11	第1回理事会（12名出席） 第2回は平成23年3月17日開催（11名出席）
		11	第1回派遣事業・国内対応委員会 第2回は平成23年1月31日開催
	7	1	第1回イベント事業サポート委員会 第2回は10月20日、 第3回は平成23年2月14日開催
		14	青少年海外派遣生壮行会
		22 23 26 29	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～8月下旬（派遣生12名）
		30	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～8月6日（派遣生10名）
	8	1	青少年海外派遣生インドネシアへ出発 ～8日（派遣生2名）
	9	5	国際親善レガッタ（124名参加～CIR・ALT33名・留学生4名、協会員等22名、ヨットクラブ60名、事務局5名）
		13	アメリカカリフォルニア州アルハンブラ副市長訪問団歓迎会
		24	青少年海外派遣生帰国報告会
	10	29	中国陝西省銅川市耀州区青少年友好交流訪日団来市 ～10月2日（訪問団6名）
		29	中国陝西省銅川市耀州区人民政府訪日団歓迎会
		1	中国陝西省銅川市耀州区青少年友好交流訪日団送別会
		17	きりしま隼人浜下り（16名参加～留学生8名、日本人学生4名、事務局4名）
		18	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団来市（訪問団5名）



国際交流の集い～世界の味ランチ～／平成21年度



国際親善ナンコ大会／平成21年度



初午祭／平成21年度



青少年海外派遣生壮行会／平成22年度



アルハンブラ副市長訪問団歓迎会／平成22年度



中国陕西省铜川市耀州区
青少年友好交流訪日団来市／平成22年度



国際交流ハイキング 霧島ジオツアー／平成22年度



中国上海市嘉定区との交流の旅／平成22年度

年度	月	日	内 容
22	11	6 7	霧島ふるさと祭
		13	国際交流ハイキング 霧島ジオツアー (14名参加～ALT4名、留学生1名、在住外国人1名、協会員4名、事務局4名)
		24	中国上海市嘉定区との交流の旅 ～27日(参加者5名)
	12	10	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～17日 (訪問団15名～引率教諭5名、学生10名)
		10	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団歓迎会
		16	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
	1	16	国際交流の集い～世界の味ランチ～(90名参加～外国人20名、日本人70名)
	2	4	国際親善ナンコ大会(38名参加～外国人20名、日本人18名)
		18	第1回総務・広報委員会
		20	初午祭(15名参加～外国人7名、日本人8名)
	3	19	龍馬ハネムーンウオーク(10名参加～外国人5名、会員・事務局5名)
23	4	22	霧島市国際交流協会総会(29名出席)
	5	11	第1回派遣事業・国内対応委員会 第2回は平成24年2月22日開催
	6	27	第1回イベント事業サポート委員会 第2回は平成24年2月20日開催
	7	4	青少年海外派遣生壮行会
		24	青少年海外派遣生マレーシア(クランタン州)へ出発 ～31日(派遣生1名)
		22 27	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～8月下旬(派遣生8名)
		29	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～8月5日(派遣生6名)
	8	20	中国陝西省銅川市耀州区との交流の旅 ～24日(参加者5名～会員4名、随員1名)
	9	4	国際親善レガッタ(133名参加～CIR・ALT31名・留学生4名、協会員等21名、ヨットクラブ74名、事務局3名)
		27	青少年海外派遣生帰国報告会
	10	13	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団来市(訪問団5名)
		16	きりしま隼人浜下り(13名参加～CIR2名、留学生8名、事務局3名)
		30	マレーシアマラッカ州主席大臣訪問団来市(訪問団10名)
	11	5	国際交流ハイキング 霧島ジオツアー(11名参加～CIR・ALT5名、留学生3名、事務局3名)
		21	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～28日 (訪問団7名～引率教諭1名、学生6名)
		21	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団歓迎会
		27	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
	12	3	国際交流の集い～世界の味ランチ～(67名参加～外国人24名、日本人43名)
	2	12	初午祭(31名参加～CIR・ALT8名、留学生9名、協会員等12名、事務局2名)
		18	国際親善ナンコ大会(33名参加～CIR・ALT7名、留学生8名、協会員等16名、事務局2名)
	3	2	第1回総務・広報委員会
		17	龍馬ハネムーンウオーク(8名参加～CIR2名、留学生3名、協会員1名、事務局2名)



龍馬ハネムーンウォーク／平成22年度



中国陝西省銅川市耀州区との交流の旅／平成23年度



国際親善レガッタ／平成23年度



きりしま隼人浜下り／平成23年度



マレーシアマラッカ州主席大臣訪問団来市／平成23年度



国際交流ハイキング 霧島ジオツアー／平成23年度



初午祭／平成23年度



青少年海外派遣生壮行会／平成24年度

年度	月	日	内 容
23	3	27	第 1 回理事会
24	4	11	中国陝西省銅川市耀州区人民政府訪日団歓迎会
		20	霧島市国際交流協会総会 (40 名出席)
	5	10	第 1 回派遣事業・国内対応委員会 第 2 回は平成 25 年 2 月 26 日開催
	7	9	青少年海外派遣生壮行会 (88 名出席)
		12	第 1 回イベント事業サポート委員会 第 2 回は平成 25 年 2 月 21 日開催
		22	青少年海外派遣生ベトナムへ出発 ～ 29 日 (派遣生 1 名)
		26 27	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～ 8 月下旬 (派遣生 12 名)
		27	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～ 8 月 3 日 (派遣生 4 名)
	8	20	中国友好交流都市への旅 ～ 24 日 (参加者 4 名)
		20	青少年海外派遣生中国へ出発 ～ 25 日 (派遣生 4 名)
	9	2	国際親善レガッタ (116 名参加～ CIR・ALT28 名・留学生 3 名、協会員等 17 名、ヨットクラブ 62 名、事務局 6 名)
		28	青少年海外派遣生帰国報告会 (50 名出席)
	10	21	きりしま隼人浜下り (24 名参加～ CIR・ALT7 名、留学生 14 名、事務局 3 名)
	11	10 11	霧島ふるさと祭 (23 名参加～ CIR・ALT5 名、留学生 13 名、協会員等 2 名、事務局 3 名)
		23	国際交流ハイキング 霧島ジオツアー (11 名参加～ CIR1 名、留学生 6 名、協会員等 2 名、事務局 2 名)
	12	1	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～ 8 日 (訪問団 8 名～引率教諭 2 名、学生 6 名)
		3	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団歓迎会
		7	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
	2	3	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (80 名参加～外国人 37 名、日本人 43 名)
		16	国際親善ナンコ大会 (37 名参加～ CIR・ALT2 名、留学生 10 名、協会員等 21 名、事務局 4 名)
	3	1	第 1 回総務・広報委員会
		3	初午祭 (28 名参加～ CIR・ALT・留学生 13 名、協会員等 11 名、事務局 4 名)
		16	龍馬ハネムーンウォーク (16 名参加～ CIR・ALT・留学生 11 名、協会員 2 名、事務局 3 名)
		28	第 1 回理事会 (17 名出席)
25	4	17	霧島市国際交流協会総会 (33 名出席)
	5	13	第 1 回派遣事業・国内対応委員会 第 2 回は平成 26 年 2 月 14 日開催
	6	18	第 1 回イベント事業サポート委員会 第 2 回は平成 26 年 2 月 13 日開催
	7	9	青少年海外派遣生壮行会 (98 名出席)
		21	青少年海外派遣生ベトナムへ出発 ～ 28 日 (派遣生 2 名)
		23 25	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～ 8 月下旬 (派遣生 12 名)
		26	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～ 8 月 2 日 (派遣生 8 名)
	8	17	鹿児島県青少年国際協力体験事業報告会 (派遣生 17 名のうち霧島市より 2 名参加)



きりしま隼人浜下り／平成24年度



霧島ふるさと祭／平成24年度



マレーシアマラッカ市セントフランシス学院
訪問団受入れ／平成24年度



国際交流の集い～世界の味ランチ～／平成24年度



国際親善ナンコ大会／平成24年度



龍馬ハネムーンウォーク／平成24年度



鹿児島県青少年国際協力体験事業報告会／平成25年度



中国上海市嘉定区友好訪問団歓迎会／平成25年度

年度	月	日	内 容
25	8	21	中国上海市嘉定区友好訪問団歓迎会 (30 名出席)
	9	27	青少年海外派遣生帰国報告会 (50 名出席)
	10	14	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団歓迎会
		20	きりしま隼人浜下り (24 名参加～ CIR・ALT7 名、留学生 14 名、事務局 3 名)
	11	2 3	霧島ふるさと祭 (17 名参加～ CIR・ALT6 名、留学生 6 名、協会員 1 名、事務局 4 名)
		27	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～ 12 月 4 日 (訪問団 8 名～引率教諭 2 名、学生 6 名)
		30	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団歓迎会
	12	3	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
	2	15	国際親善ナンコ大会 (32 名参加～ CIR・ALT5 名、留学生 1 名、外国人 2 名、協会員等 19 名、事務局 5 名)
		18	第 1 回総務・広報委員会
		23	初午祭 (20 名参加～ CIR・ALT・留学生 12 名、協会員・一般・事務局 8 名)
	3	1	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (100 名参加～外国人 30 名、日本人 70 名)
		15	龍馬ハネムーンウオーク (21 名参加～ CIR・ALT・留学生 10 名、協会員 7 名、一般・事務局 4 名)
		21	国際交流ハイキング 霧島ジオツアー (14 名参加～ CIR・ALT・留学生 8 名、協会員・一般・事務局 6 名)
		31	第 1 回理事会 (19 名出席)
	* 9 月 1 日開催予定の「国際親善レガッタ」は台風接近のため中止		
26	4	17	霧島市国際交流協会総会 (32 名出席)
	5	8	第 1 回派遣事業・国内対応委員会 第 2 回は平成 27 年 2 月 13 日開催
	6	10	第 1 回イベント事業サポート委員会 第 2 回は平成 27 年 2 月 10 日開催
	7	20	青少年海外派遣生カンボジアへ出発 ～ 27 日 (派遣生 2 名)
		23 24	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～ 8 月下旬 (派遣生 12 名)
	8	8	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～ 15 日 (派遣生 8 名)
		8	マレーシア交流都市訪問の旅 ～ 13 日 (参加者 6 名)
	9	26	青少年海外派遣生帰国報告会 (68 名出席)
	10	16	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団歓迎会
		19	きりしま隼人浜下り (25 名参加～ CIR・ALT10 名、留学生 11 名、事務局 4 名)
		29	中国上海市嘉定区訪問の旅 ～ 11 月 1 日 (参加者 2 名)
	11	8 9	霧島ふるさと祭
		22	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～ 29 日 (訪問団 10 名～引率教諭 2 名、学生 8 名)
		28	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
	2	14	国際親善ナンコ大会 (43 名参加～ CIR・ALT7 名、留学生 1 名、外国人 9 名、協会員等 23 名、事務局 3 名)
		17	第 1 回総務・広報委員会
		22	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (80 名参加～外国人 16 名、日本人 64 名)



マレーシアマラッカ市セントフランシス学院
先生訪問団歓迎会／平成25年度



国際親善ナンコ大会／平成25年度



国際交流の集い～世界の味ランチ～／平成25年度



国際交流ハイキング 霧島ジオツアー／平成25年度



マレーシア交流都市訪問の旅／平成26年度



青少年海外派遣生帰国報告会／平成26年度



きりしま隼人浜下り／平成26年度



初午祭／平成26年度

年度	月	日	内 容
26	3	8	初午祭 (24 名参加～ CIR・ALT・留学生 15 名、協会員・一般・事務局 9 名)
		19	第 1 回理事会 (15 名出席)
		21	龍馬ハネムーンウオーク (18 名参加～ CIR・ALT・留学生 8 名、協会員・一般・事務局 10 名)
			* 7 月 9 日開催予定の「青少年海外派遣生壮行会」は台風 8 号接近のため中止 * 9 月 7 日開催予定の「国際親善レガッタ」は大潮のため中止
27	4	15	霧島市国際交流協会総会 (115 名出席)
	5	8	第 1 回派遣事業・国内対応委員会 第 2 回は平成 28 年 2 月 12 日開催
	6	16	第 1 回イベント事業サポート委員会 第 2 回は平成 28 年 2 月 9 日開催
	7	8	青少年海外派遣生壮行会 (94 名参加)
		19	青少年海外派遣生カンボジアへ出発 ～ 26 日 (派遣生 1 名)
		24	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～ 31 日 (派遣生 11 名)
		25	マレーシア交流都市訪問の旅 ～ 27 日 (参加者 3 名)
		28 29	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～ 8 月下旬 (派遣生 12 名)
	8	5	韓国交流都市訪問の旅 ～ 8 月 8 日 (参加者 4 名)
	9	6	国際親善レガッタ (88 名参加～外国人 23 名、協会員・一般 18 名、ヨットクラブ 41 名、事務局 6 名)
		25	青少年海外派遣生帰国報告会 (75 名参加)
		29	中国上海市嘉定区友好訪問団歓迎会
	10	18	きりしま隼人浜下り (22 名参加～ CIR・ALT6 名、留学生等 12 名、事務局 4 名)
		19	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団歓迎会
	11	7 8	霧島ふるさと祭
		25	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～ 12 月 2 日 (訪問団 11 名～引率教諭 3 名、学生 8 名)
		25	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団歓迎会
	12	1	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
		20	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (80 名参加～外国人 15 名、日本人 65 名)
	2	6	国際親善ナンコ大会 (33 名参加～外国人 10 名、協会員等 20 名、事務局 3 名)
		15	第 1 回総務・広報委員会
		28	初午祭 (11 名参加～外国人 6 名、協会員・事務局 5 名)
	3	19	龍馬ハネムーンウオーク (11 名参加～外国人 4 名、協会員・事務局 7 名)
		23	第 1 回理事会 (15 名出席)
28	4	14	霧島市国際交流協会総会 (115 名出席)
	5	11	第 1 回派遣事業・国内対応委員会 第 2 回は 26 日、第 3 回は平成 29 年 2 月 10 日開催
	6	16	第 1 回イベント事業サポート委員会 第 2 回は平成 29 年 2 月 7 日開催
	7	7	青少年海外派遣生壮行会 (68 名出席)
		24	青少年海外派遣生ラオスへ出発 ～ 31 日 (派遣生 2 名)



龍馬ハネムーンウォーク／平成26年度



青少年海外派遣生壮行会／平成27年度



国際親善レガッタ／平成27年度



マレーシアマラッカ市セントフランシス学院
先生訪問団歓迎会／平成27年度



霧島ふるさと祭／平成27年度



国際交流の集い～世界の味ランチ～／平成27年度



国際親善ナンコ大会／平成27年度



霧島市国際交流協会総会／平成28年度

年度	月	日	内 容
28	7	25	中国陝西省銅川市訪日団歓迎会
		27 29	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～ 8 月 19 日・21 日 (派遣生 11 名)
		29	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～ 8 月 5 日 (派遣生 3 名)
		29	マレーシア交流都市訪問の旅 ～ 8 月 4 日 (参加者 4 名)
	10	7	青少年海外派遣生帰国報告会 (47 名出席)
		16	きりしま隼人浜下り (14 名参加～ CIR・ALT6 名、留学生 5 名、事務局 3 名)
		18	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団歓迎会
		26	中国交流都市訪問の旅 ～ 30 日 (参加者 5 名)
	11	5 6	霧島ふるさと祭
		30	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～ 12 月 7 日 (訪問団 10 名～引率教諭 2 名、学生 8 名)
		30	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団歓迎会
	12	6	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
		18	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (66 名参加～外国人 12 名、日本人 54 名)
	2	4	国際親善ナンコ大会 (27 名参加～外国人 12 名、協会員等 11 名、事務局 4 名)
		14	第 1 回総務・広報委員会
		19	初午祭 (19 名参加～外国人 10 名、協会員等 6 名、事務局 3 名)
	3	14	第 1 回理事会 (16 名出席)
		18	龍馬ハネムーンウォーク (17 名参加～外国人 3 名、協会員等 11 名、事務局 3 名)
	* 9 月 4 日開催予定の「国際親善レガッタ」は台風接近のため中止		
29	4	14	霧島市国際交流協会総会 (112 名出席)
		5	第 1 回派遣事業・国内対応委員会 第 2 回は平成 30 年 3 月 5 日開催
		6	第 1 回イベント事業サポート委員会 第 2 回は平成 30 年 3 月 9 日開催
		7	4 青少年海外派遣生壮行会 (100 名出席)
		23	青少年海外派遣生ラオスへ出発 ～ 30 日 (派遣生 2 名)
		25 26 28	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～ 8 月 17 日・18 日・20 日 (派遣生 12 名)
		28	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～ 8 月 4 日 (派遣生 12 名)
		29	マレーシア交流都市訪問の旅 ～ 8 月 3 日 (参加者 3 名)
		30	青少年海外派遣生中国へ出発 ～ 8 月 7 日 (派遣生 2 名)
		8	2 韓国交流都市訪問の旅 ～ 5 日 (参加者 3 名)
		23	中国上海市嘉定区訪日団歓迎会
		27	国際親善レガッタ (78 名参加～ CIR・ALT16 名、協会員・一般・ヨットクラブ 58 名、事務局 4 名)
	10	2	青少年海外派遣生帰国報告会 (90 名出席)
		15	きりしま隼人浜下り (14 名参加～ CIR・ALT7 名、留学生 3 名、事務局 4 名)



青少年海外派遣生帰国報告会／平成28年度



きりしま隼人浜下り／平成28年度



中国交流都市訪問の旅／平成28年度



霧島ふるさと祭／平成28年度



初午祭／平成28年度



青少年海外派遣生壮行会／平成29年度



マレーシア交流都市訪問の旅／平成29年度



国際親善レガッタ／平成29年度

年度	月	日	内 容
29	10	23	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団歓迎会
	11	4 5	霧島ふるさと祭
		27	第1回理事会 (20名出席) 第2回は平成30年2月6日 (17名出席)、 第3回は3月20日開催 (20名出席)
		29	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～12月6日 (訪問団10名～引率教諭2名、学生8名)
		29	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団歓迎会
	12	5	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
		17	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (81名参加～外国人16名、日本人65名)
	2	2	国際親善ナンコ大会 (31名参加～外国人7名、協会員・一般20名、事務局4名)
	3	11	初午祭 (14名参加～外国人7名、協会員4名、事務局3名)
		16	第1回総務・広報委員会
			* 3月17日開催予定の「龍馬ハネムーンウォーク」は新燃岳噴火の影響により中止
30	4	23	霧島市国際交流協会総会 (135名出席)
	5	11	第1回派遣事業・国内対応委員会
	6	27	第1回イベント事業サポート委員会
	7	3	青少年海外派遣生壮行会 (108名出席)
		22 24 27 29	青少年海外派遣生アメリカへ出発 ～8月15日・16日・19日・22日 (派遣生12名)
		25	青少年海外派遣生スリランカへ出発 ～8月1日 (派遣生2名)
		27	青少年海外派遣生マレーシアへ出発 ～8月3日 (派遣生12名)
		29	マレーシア交流都市訪問の旅 ～31日 (参加者4名)
		29	青少年海外派遣生中国へ出発 ～8月6日 (派遣生1名)
	9	1	霧島市国際交流協会設立10周年記念事業アメリカ訪問 ～8日 (協会員・事務局5名)
		16	国際親善レガッタ (91名参加～外国人15名、協会員・一般・ヨットクラブ72名、事務局4名)
		19	青少年海外派遣生帰国報告会 (101名出席)
	10	21	きりしま隼人浜下り (16名参加～CIR・ALT5名、留学生7名、協会員1名、事務局4名)
		22	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院先生訪問団歓迎会
		31	第1回総務・広報委員会
	11	3 4	霧島ふるさと祭
		29	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団受入れ ～12月5日 (訪問団10名～引率教諭2名、学生8名)
	12	4	マレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団送別会
		16	国際交流の集い～世界の味ランチ～ (83名参加～外国人14名、日本人69名)
			* 11月のマレーシアマラッカ市セントフランシス学院訪問団の受入れ時歓迎会は中止 (飛行機遅延で1日遅れの到着)



霧島ふるさと祭／平成29年度



国際親善ナンコ大会／平成29年度



初午祭／平成29年度



青少年海外派遣生帰国報告会／平成30年度



国際親善レガッタ／平成30年度



きりしま隼人浜下り／平成30年度



マレーシアマラッカ市セントフランシス学院
先生訪問団歓迎会／平成30年度



国際交流の集い～世界の味ランチ～／平成30年度

2

青少年海外派遣・受入事業等

派遣生集合写真



平成20年度



平成22年度



平成23年度



平成24年度



平成25年度



平成26年度



平成27年度



平成28年度



平成29年度



平成30年度

マレーシア



平成20年度



平成22年度



平成25年度



平成23年度



平成24年度



平成25年度



平成26年度



平成26年度



平成27年度



平成28年度



平成28年度



平成30年度

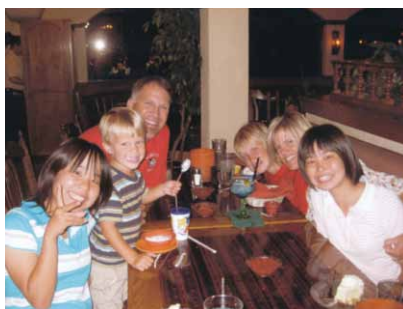


平成29年度



平成30年度

アメリカ



平成20年度



平成20年度



平成22年度



平成23年度



平成25年度



平成27年度



平成23年度



平成26年度



平成28年度



平成24年度



平成28年度



平成29年度



平成30年度



平成30年度

(株)南日本カルチャーセンター 代表取締役社長 濱田 純逸 さんからのメッセージ

近年の若者が海外より国内、小市民的で従順、内向きで現実的と言われる中、薩摩藩英国留学生を送り出した本県の革新的英断を思えば、忸怩たる感があります。文科省もその思いは同様で、「トビタテ! 留学Japan」と称する留学促進キャンペーンを2014年から2020年まで実施し、1万人の若者を海外に送り出そうと躍起になっています。それに比べれば、旧協会の時代から既に30年、青少年の人材育成事業に腐心している姿は、教育や育成に欠くべからざる継続性、持続性を具現化しており、心から敬意を表するものです。

旧態に復し半世紀以上、多くの若者が高校入試や大学入試を控えて、目先の価値に固執する気持ちもわからないではありませんが、「田舎の学問より京の昼寝」と喝破した先人達の強烈な教えが、今は大きく見えてなりません。



鹿児島県青少年国際協力体験事業



平成20年度



平成23年度



平成26年度



平成21年度



平成24年度



平成25年度



平成27年度



平成28年度



平成29年度



平成30年度



平成30年度

中国陕西省铜川市耀州区



平成20年度



平成20年度



平成21年度



平成24年度

中国上海市嘉定区



平成29年度



平成29年度



平成30年度



平成30年度

マレーシアマラッカ市セントフランシス学院受入



平成22年度



平成23年度



平成24年度



平成25年度



平成26年度



平成27年度



平成28年度



平成29年度



平成30年度

これまでの派遣・受入一覧

●派遣

(国名) (年度)	アメリカ	マレーシア	中国 上海市嘉定区	中国 陕西省銅川市耀州区	鹿児島県青少年 国際協力体験事業	合計
H20	14	11	—	4	1 (ラオス)	30
H21	—	—	—	4	—	4
H22	12	10	—	—	2 (インドネシア)	24
H23	8	6	—	—	1 (マレーシア)	15
H24	12	4	—	4	1 (ベトナム)	21
H25	12	8	—	—	2 (ベトナム)	22
H26	12	8	—	—	2 (カンボジア)	22
H27	12	11	—	—	1 (カンボジア)	24
H28	11	3	—	—	2 (ラオス)	16
H29	12	12	2	—	2 (ラオス)	28
H30	12	12	1	—	2 (スリランカ)	27
合計	117	85	3	12	16	233

●受入

マレーシア マラッカ市 セントフランシス学院
—
—
15
7
8
8
8
8
10
10
82

派遣関係者からの寄稿

マレーシア派遣 コーディネーター
鹿児島純心女子短期大学
三 島 盛 武 先生

霧島市国際交流協会設立10周年、誠におめでとうございます。

私は、旧国分市が行っていた海外派遣事業の東南アジア方面のコーディネーターに関わって以来、今日まで協会のマレーシア派遣のコーディネーターをさせていただいております。

当時、私の教え子の一人が国分市役所の国際交流部門に勤務しており、派遣のための細部を詰めることにしました。幸い、私の勤務する学校での仕事の一つがマレーシア、シンガポールでの一ヶ月のホームステイ事業でしたので、日程を組むのも、交流校を探すのもそれほど困難ではありませんでした。

現在、協会でホームステイをさせてもらっているマレー半島中央部のマラッカは本県にとっては、馴染みのある町で、宣教師ザビエルがキリスト教の布教と同時に西洋文化を日本にもたらした由緒ある土地柄です。多くの資料を読むと、ザビエルは鹿児島上陸後、布教活動のために県内を歩き、鹿児島から約30キロの地域まで歩いたという記録が残されており、少し前にはその地探しが大いに賑わったものです。その候補として、国分、伊集院が挙げられ、活発な論議があったこともマラッカという地名を聞くと思い出されます。

マラッカは、シンガポールとも陸続きで約3時間半の距離だけに多くの観光客が訪れています。派遣された今までの生徒は、多民族、多言語のこの地に多くのものを学び、魅せられているようです。何かの折には皆様にもぜひこの地を訪れ、落ち着いた街並みとマラッカの夕陽に感動していただきたいと思います。



平成23年度 マレーシア派遣
三重野 景 子

私は、平成23年の当時高校2年生であった時にこの交流に参加し、初めてマレーシアを訪問しました。期待と不安とが入り混じっていましたが、交流協会の事前準備、人の温かさ、そして同年代の人たちとの触れ合いのお陰ですぐに慣れることができました。マレーシアは、多民族国家であり、人種や宗教など異なる様々な人々が暮らしています。ちょうど私達が訪れた時期がラマダンの時期であったということもあり、同じ学校でもイスラム教の子たちはご飯を食べず、他の宗教の子はご飯を食べているという光景を目にしました。それまでの私は、「宗教＝怖い」と考え、また私にはあまり関係がなく、教科書の中で学んだだけのイメージを持っていましたが、実際に人種や宗教が存在することについて、身をもって学ぶことができました。

異国のマレーシアに住む同学年の方たちとの交流、ホームステイは、私にとって今でも忘れられない大切な思い出です。

高校、短大を卒業し、就職をして3年が経った平成30年。私はマレーシアがずっと忘れられず、再び一人で訪れました。ステイ先もこのプログラムで出会っ



た方のお宅です。このような出会いの機会を与えてくださったプログラムに改めて感謝の意を表します。



派遣関係者からの寄稿

平成24年度 アメリカ派遣

春 口 弘 樹



2012年7月。高校2年生だった私は、ホームステイでアメリカに行きました。それから6年の時がたった2018年現在、私は「バニラ・エア」という航空会社で働いております。航空整備士として職務に当たり、現在は研修でグランドスタッフの業

務も行っております。私がこの会社に入社したのは、昔から飛行機が好きで航空の世界で働きたいという夢があったからです。この夢を叶えられたのもこれまで様々な経験をし、また努力をしたからこそ、成し遂げることができたのだと思っています。その中でも、高校2年生の時にホームステイをした経験は私に非常に大きな影響を与えたライフイベントでした。

「英語力向上」。そういった名目でプログラムに申し込みました。確かに英語力は向上しましたし、完璧ではないですが、今では英語でコミュニケーションをとることもできます。しかし、ホームステイでは、その「英語力」よりも大切なことを得ることができました。それは「グローバルな視野」です。日本では当たり前のことも他の国ではそうではないということはよくあります。異国の文化、風習、考え方をすることは非常に大切なことです。この地球には様々な人が住んでいます。お互いを理解しあい、柔軟な考え方を持つことが、これからのグローバル社会を生きていく上で非常に大切なことだと思います。

私は、仕事上さまざまな国の方と接することがあります。英語を使うことは、今や人工知能でもできることです。しかし、コミュニケーションを行うときの相手は人間です。相手を尊重して接することは人間だからこそできることなのです。海の向こう側には皆さんの知らない世界がたくさん広がっています。そこでは素晴らしい経験や出会いが待っているでしょう。世界のひとと人を繋ぐ仕事をしている私は、皆様にご搭乗されることを心よりお待ちしております。

GOOD LUCK!!

平成28年度 ラオス派遣
(鹿児島県青少年国際協力体験事業)

二 宮 花 音

私は、高校3年生の夏に青少年派遣事業でラオスに行かせていただきました。もともと途上国での支援に興味があり、青年海外協力隊の活動現場を自分の目で見たいと思ったのが参加のきっかけでした。

ラオスに行く前は、私は、支援とはただモノを与えればいいと思っていました。しかし、協力隊の方の話を聞いたり、実際に活動現場を見たりして、その国にとって本当に必要な支援とは何なのか、そもそも発展することが本当にその国に住む人にとって幸せなのだろうかという疑問が、ラオスで一週間ホームステイさせていただく中で私の中に浮かび上がってきました。先進国から送られてきたのはいいが使い方がわからず部屋の隅にホコリを被ったままで放置されていた医療器具、ラオスの舗装されていない赤土をホストファミリーと走り回ったこと、夜、家族で円になってしゃべりながらした夕飯の準備…。

ラオスに行ったことで、私は本当の支援とは何なのだろうと疑問に思い、自分は途上国に住む人がもっと幸せになるためには何ができるのだろうと考えました。そして出た結論は、とりえず確実な知識・技術を持ちたいということでした。自分がなにかについて確実な知識を持っていないと、途上国に行ったとしても何も役立てないと考え、また、医療が足りないと感じたのもあって、私は熱帯医学研究所のある長崎大学医学部医学科に入学しました。まだ進路を決める前に、



協力隊の現場を見たり話を聞けたりしたのはとても貴重な経験になりました。改めてこの事業に関わってくださったすべての人に感謝の言葉を述べたいと思います。



マレーシアマラッカ市セントフランシス学院からのメッセージ

G. Saktisaileshwar

私は3人の霧島市の青少年の受入れができ、本当にいい機会となりました。ご存じの通り、マレーシアは多民族国家であり、マレー系、中華系、インド系等の様々な民族が共存している国です。私たちはマレーシアと日本の文化や伝統や料理等を学び合い、素晴らしい経験をしました。私は、日本のゲストたちが地元の料理や果物、ゲームや歴史的な事柄を楽しむと、とても嬉しくて、自慢になります。ゲストたちはマレーシアの文化や歴史にとっても興味があります。

この素晴らしい交流プログラムに参加する機会をくれた霧島市とセントフランシス学院への感謝が言葉だけでは伝えられません。心からありがとうございます。



Norman Heng

「楽しんでる時間は早く過ぎる」。このプログラムの経験はとても楽しくて、勉強になりました。私はホストとしてこのプログラムに2回参加し、2人の霧島のゲストを対応しました。ゲストからは日本の文化を学び、日本の流行語も学びました！日本とマレーシアの文化の違いを理解できました。霧島の青少年は「Terima Kasih (テリマカシ)」、マレー語で「ありがとう」等のマレー語の言葉も覚えてくれ、毎日使うようになりました。皆はとても開放的であり、新しいことに挑戦しました。かなり辛いマレーシア料理にも挑戦しました。実距離は離れていますが、ソーシャルメディアのおかげでまだつながっています。このプログラムに選ばれて本当に嬉しかったです。全く後悔をしていません。

霧島市とセントフランシス学院とホストファミリーの皆さんに感謝します。皆さんがいなければ、この素晴らしくて、有意義なプログラムの実行はできません。この交流プログラムがずっと続くように願っています。ありがとうございました！



Deen Akaasyah

私の家族にとって、このホストプログラムは面白く、忘れられない経験でした。2015年の短い間に、彼女のことを色々知り、とても良い時間を過ごし、コミュニケーションを取ることができました。

なぜなら、私は日本語の知識を豊富に持っており、彼女は少しですが英語で話すことができたからです。そのため、毎日のコミュニケーションが流暢に進みました。将来、霧島市の青少年たちの英語能力と、セントフランシスの生徒たちの日本語能力が高まれば、嬉しく思います。



マレーシアマラッカ市セントフランシス学院からのメッセージ

Isaac Low Ting Feng

こんにちは。

私はマレーシアマラッカ市セントフランシス学院の Isaac Low Ting Feng です。霧島の青少年の受入れをすることができたのは、本当に素晴らしいことでした。このプログラムに参加でき、彼らから日本の色々なことを学んだので、とても嬉しくて、自慢しています。ゲストたちからは日本文化を学ぶことができ、簡単な日本語を話せるようになりました。同時に、霧島市の青少年たちはマレーシアの文化と伝統と料理を体験することができ、私たちの違いを相互理解することができました。

このプログラムに選ばれた際、霧島からのゲストと交流することを楽しみにしていました。私は鹿児島市の青少年を4年間受け入れ、霧島市の青少年3人を受け入れました。2016年に霧島市の生徒のホストになり、私が霧島に行った時にはその生徒のお世話になりました。霧島市の生徒たちはとても優しく、親しく、礼儀正しく、規律正しい生徒たちでした。彼らはとても積極的にマレーシアの伝統的なゲームや衣服等の文化を学びました。また、とても辛いマレーシアの料理も食べました。

霧島市からのゲストの受入れができ、とても嬉しかったです。私たちはこれからもゲストの家族と連絡を取り、私たちの絆を永久につなぐことができるように願っています。

最後になりますが、この素晴らしく、知識豊富な青少年交流プログラムに参加させてくれた霧島市とセントフランシス学院への感謝が言葉だけでは伝えられません。改めて、心からありがとうございました！



青少年海外派遣事業の検証

平成20年度から平成28年度までの期間に青少年海外派遣事業に参加され、かつ満18才以上の方に海外派遣後の状況などをお尋ねいたしました。

対象者…79人 回答者数…22人（回答率～約28%）

平成30年12月～平成31年1月実施

《性別》・男……10 ・女……12

《派遣先》・アメリカ……14 ・マレーシア……5 ・中国……2 ・その他……1

《派遣理由（複数回答含）》

- ・外国の文化や慣習に触れてみたかった…………… 15
- ・外国語を勉強してみたかった…………… 9
- ・親に勧められた…………… 8
- ・外国に行ってみたかった…………… 8

《一番印象に残ったこと(複数回答含)》

- ・ホストの対応…………… 17
- ・ことばの壁…………… 11
- ・食事…………… 8
- ・達成感…………… 4
- ・観光…………… 4
- ・カルチャーショックを受けたこと…………… 3

《派遣が影響したこと(複数回答含)》

- ・語学…………… 12
- ・進路、就職…………… 9
- ・積極性…………… 9
- ・性格…………… 4
- ・人間関係…………… 3





派遣生OB・OGからの「経験してよかったこと」

英語を話すことへの自信がついた。高校卒業後の6年間、海外で生活することができた。いかに日本が便利で暮らしやすいかに気付かされた。日本とそれぞれの国の良さ、悪さを比較することができた。

R.H

英語力、特にリスニング力が向上したと思う。

A.S

視野が広がったこと。都心部と農村部の生活の違いから、青年海外協力隊の活動の必要性を理解し、日本が世界の中で先進国と言われていることを目の当たりにした。自分に何が出来るだろうということを考えるきっかけになり、大学入試での面接や就活でもその経験が役に立った。また、自分自身に対して自信を持つことができた。

M.Y

ホームステイでの交流。

R.F

語学に対する姿勢が大きく変わった。日本にいらると、英語は勉強の教科のひとつとってしまいがちである。しかし、アメリカに行って、英語はコミュニケーションのツールであり、自分が発した英語が伝わることや、現地の方が喋っていることが聞きとれたときの喜びは、計り知れないものであり、渡航してこの喜びを知った。以来、自分から外国の方に声をかけたり様々な国に行くようになり、自分の世界が大きく広がった。

H.H

もっといろんな世界を見たいと思うようになった。

R.T

見聞が広がり（初めて見たり、聞いたり、食べたり、感じたり）友達が増えた。異文化理解のきっかけになった。

N.M

異文化にさらに興味をもつようになった。学生時代にまた長期で海外へ留学したいと感じ、実行した。

匿名

文化や言葉の壁に戸惑い、ホームシックになったことが懐かしい。派遣事業のおかげでもっといろんな国を見てみたいという思いにつながった。世界に対する視野も広がった。今は海外で働きたいと考えている。

S.S

知らない地で言葉も通じない不安な環境の中、自分と同じ環境に置かれている周りの仲間を見て、自分に足りない部分をたくさん知ることができた。その後の学生時代でも新しいことに興味を持ち挑戦すること、周りを見ながら自分に欠けているところを見つけ、自分を磨いていくことができたと思う。

A.M

参加後、英語への興味がより湧いた。

A.K

上手く英語で伝えられないとき、ジェスチャーなどを利用して多少は伝えることができた。また、自分達とは違った物事のとらえ方などを知ることができた。

R.N

支援とはどういう事かを自分の目や耳で学ぶ事ができた。協力隊の方と実際に話をする事ができ、貴重な経験となった。

K.N

日本と異なる文化に触れ、現地の同年代の子供たちがどんな生活を送っているのかを知ることができ、海外への興味や学んでみたいことを発信するきっかけになったと思う。

N.G

派遣生OB・OGからの「経験してよかったこと」

東南アジアの暮らしを実際に見、経験したことで、その国の人々への理解が深まった。マレーシアに関するニュースなどを、より関心を持って見るようになった為、国際社会への関心が高まった点で役に立ったといえる。

M.I

困っている外国の方へ声をかけることができた。
訪れた地のことが学校の授業で習った時に、知ってることが多くあり予習ができた。
働き始めて、コミュニケーションをとることが自ら進んでできるようになった。

T.N

英語を用いたコミュニケーションにおそれを感じなくなった。自分をより表現できるようになった。
匿名



派遣生OB・OGからの「後輩へのメッセージ」

知らない世界へ踏み出す経験が、必ず自分の人生の糧になると思います。頑張ってください！
Hope you learn and experience so much:D

匿名

高校2年生の時のマレーシア派遣での経験は、大学生になった今でも鮮明に思い出せるほど、私にとって大切な思い出になっています。新しいことに挑戦することの大切さを教えてくれた海外派遣で、皆さんも素敵な思い出ができることを願っています。

N.G

きっと何かしら得ることができると思うので、失敗をおそれずに心から楽しんでください。

匿名

一人で行くより安心して行けるので、行きたいと少しでも思うなら行ったほうがいいです。とてもいい思い出になります。

A.K

外国の人や文化に触れることは、これからの人生に大いに役立つと思うので、皆さんぜひ参加してください。

A.S

この交流事業への参加をきっかけにさらに国際社会への関心が高まり、大学でも同様のプログラムに参加するなどして海外の人との交流を図っています。後輩のみなさんにもぜひ海外とつながる機会をもち、驚きや新たな発見を得てほしいです。

M.I

国際交流というのは、なかなかできることではありません。行ったそれぞれの場所で出会った人々、食べたもの、行った場所は、自分の人生の中でかけがえのないものになります。派遣事業に行ったことで視野も広がり、今後の人生が大きく良い方向に変わることもあります。外国への怖い気持ちや決めつけだけでその国のイメージをつくってしまうのではなく、実際に行って自分の目で確かめることが必要だと思います。英語が話せなくても派遣をきっかけに勉強したりするのも良いと思います。

T.N

普段の学校生活では味わうことができない貴重な経験がたくさんできると思うのでステイ先でも積極的にチャレンジしましょう。

R.N

派遣生OB・OGからの「後輩へのメッセージ」

大人でない今だからこそ、感じたり身につけられたりできる特権があると思います。若いうちに色々な世界を見て自分の未来につなげてください。

S.S

私は高校2年生のときに、はじめて海外に行きました。渡航前は語学力が向上できればという名目でプログラムに申し込みましたが、実際に行ってみると日本とは違った現地の文化、風習、考え方など、アメリカならではのモノに触れることによって、自分の中の世界観が大きく変わったり、人生のターニングポイントとなりました。皆さんには是非まだ自分の知らない世界を体感し、見聞を広めていただきたいと思います。

H.H

海外にただ行くのではなく、意図を持って行けるこの事業は、そこに関わる多くの人達との出会いもあります。いろいろなことを吸収できる学生時代にカルチャーショックをうけることは、その後の人生に大きな影響があります。皆さんも是非この事業から、一歩を踏み出してみてください。

M.Y

実際に現地に行き自分の五感で感じることで気づくことがたくさんあり、自分が学びたいと思っている以上のものを確実に学ぶことができます。周りの仲間からも刺激を受け、今の自分とも向き合うことができます。将来の考えも広がります。「経験」は自分の財産になると思いますので、是非参加してたくさんのことを見て感じてください。

A.M

たった一週間と思うかもしれませんがその一週間が人生や価値感を変えることがあります。いろいろな事にチャレンジしてください！

K.N

海外から日本をみて日本の良さを感じてほしいです。“やってみよう”って何事にもチャレンジする勇気を大切にしてほしいです。

R.H

言葉が分からなくても、会話ができなくても、とりあえず笑顔でいれば大丈夫。

R.T

今後の青少年海外派遣や国際交流へ期待すること

もう少し気軽（金銭的に）国際交流や海外派遣ができるといい。

匿名

異文化を経験することで、進路の手助けにもなり、将来に渡り貴重な体験となった。

匿名

10代で体験したことはとても良かったです。ずっと続けてほしいです。機会を与えてもらったことにとても感謝しています。

匿名

事前に語学研修もしていただけたら良かったと思います。

匿名

派遣先がもっと増えると嬉しいです。

匿名

お世話になり、感謝しています。視野が広がり大学でも外国人の友達ができました。

匿名



平成30年度 市長・議長のマレーシア等訪問について

● 1日目 7月28日(土)

昼前に鹿児島空港国際線ビル内で結団式を行い、昼過ぎに出発した。

● 2日目 7月29日(日)

上海経由でクアラルンプール空港に到着したのが、午前1時過ぎであり、入国審査終了後、1時間程移動し、ホテルにチェックインしたのは、午前3時前であった。

午前中は新行政都市プトラジャヤと観光スポットのイスラム教モスクのプトラモスク（通称ピンクモスク）を見学する。

午後からマラッカ市に移動し、世界遺産の史跡などを見学した後、青少年派遣団の引率者と合流し、セント・フランシス学院（以下「SFI」という。）を訪問した。ここで、青少年派遣団のコーディネーターである三島鹿児島純心女子短大教授や前校長で青少年交流事業の功労者であるブラザーアンブローズ先生とお会いし、これまでの交流についてお礼を申し上げた。

夜は夕食会に出席し、SFIの先生方と交流を深めるとともに意見交換を行った。終了後帰る際には、派遣生も体験できるトライショー（2人乗り人力車）に乗車した。

● 3日目 7月30日(月)

東南アジア特有のスコールが明け方からかなり強く降り、屋外で行う予定の朝礼が講堂に変更になったことから、開始時間が遅れたが、中重市長、中村議長、前日合流された霧島市交際交流協会の末廣会長や3人の理事の方と一緒に、SFIの朝礼に出席した。霧島市の12名の派遣生と合流したところ、派遣生は元気で興奮していた。

歓迎会では、SFI学生の先導で講堂に入場し、国歌・州歌・校歌斉唱、ミスターパラマシバン副校長、アンブローズ修道院長の歓迎のあいさつの後、中重市長が英語で、霧島市の紹介や交流に至った経緯、今後の交流に向けての決意についてスピーチを行った。SFIの学生達や先生方も聞き入っていた。

霧島市の派遣生は、書道やダンス、空手の演武などのパフォーマンスを披露し、大盛況であった。



歓迎会

・マラッカ州知事表敬訪問

その後、SFI関係者の尽力によりマラッカ州知事を表敬訪問した。州知事のアドリー・ザハリ氏は、持参した霧島市の鳥瞰図写真に大変興味を示され、「霧島市との交流を今後も継続していきたい。」と言われた。

なお、中村議長や末廣会長ほか霧島市国際交流協会方々やSFI関係者も同席され、とても友好的な雰囲気のなかで、無事訪問を終えることができた。

夜は、クアラルンプール県人会の14名の方々と交流を行った。県人会の方々の職種は様々で、日本人学校の保育士や日本人の移住者の手助けをされている方、地元のメディアの関係者などであった。物価も安く、1年の気温も安定していて暮らしやすいと話をされていた。

● 4・5日目 7月31日(火)～8月1日(水)

早朝に出発し、クアラルンプール空港からシンガポールに向かう。午後、シンガポール薩摩会の10名の方々と昼食会を行った。そのうち霧島市出身の方が3名おり、中重市長は『霧島産の有機抹茶を使った「霧島茶ハイボール」をシンガポールで広められないか』と提案を行うなど、終始和やかな交流となった。

昼食会後、日本人向けのスーパーで販売されている商品や価格等の視察を行った。商品は豊富である一方、全体的に価格は高めであると感じた。

その後、移動し、夜中にシンガポールを出発し、上海経由で翌日の昼に鹿児島に到着した。



市長スピーチ



マラッカ州知事政府庁舎にて



クアラルンプール県人会

3

霧島市国際交流協会設立10周年記念事業 アメリカ訪問

平成30年9月1日(土)～8日(土)

1. 訪問の目的

霧島市国際交流協会 10 周年記念事業として、青少年海外派遣事業が行われているカリフォルニア州サクラメント市等の視察等や、霧島市の姉妹都市である、同州ソノラ市長表敬訪問等により、関係者との情報交換や現地視察等を通じて、交流のきっかけづくりを行い、今後の交流につなげる。

2. 訪問団一覧（敬称略）

- ・会長 末廣 浩二 ・副会長 濱田 和直
- ・理事 家村 信弘 ・会員 鎌田 政人 ・事務局 山口 留美子

3. 主な訪問内容



CHI総責任者との意見交換

◎ホームステイの受入れを世界中からされている CHI（Cultural Homestay International）総責任者の Thomas Areton さんと意見交換

◎派遣生の対応を行う CHI 地域責任者及びスタディセンターとして利用する教会の神父との意見交換

◎派遣生の滞在箇所の視察（カリフォルニア州の州都・サクラメント市内のカリフォルニア州議事堂、オールドタウン散策、大型ショッピング～大型店では、研修生は借り物競争を行うなどして、英語学習の場として役立てている 等）

◎霧島市の姉妹都市であるソノラ市役所の表敬訪問

◎霧島市が姉妹都市を締結した1つのきっかけとなっている、ヨセミテ国立公園の視察

◎在サンフランシスコ日本国総領事館の首席領事である永吉昭一氏（始良市出身）の表敬訪問

◎北カリフォルニア県人会との懇談

◎幕末に薩摩藩の英国留学生として英国に渡り、その後カリフォルニア州で有数のワイナリーを築いた薩摩藩武士・長澤鼎氏の足跡の一部を辿る



スタディセンター



地域責任者との意見交換



州議事堂視察



オールドタウン視察



ヨセミテ国立公園



領事館



北カリフォルニア県人会との懇談



県出身ソムリエの説明

4. 訪問の成果

◎青少年海外派遣事業の視察では、ホームステイの受入れをしていただいている CHI の3つの関係者から、プログラムの内容や派遣生に対する印象、対応等について直接話を伺い、派遣生がホームステイ中に訪問する箇所を訪問することにより、ホームステイの現状を確認することができた。また、派遣生の選考について参考になる対応を伺うことができ、さらに、霧島市の姉妹都市であるソノラ市でのホームステイの再開について、直接、要望を行った。

◎霧島市の姉妹都市であるソノラ市訪問では、霧島市長の親書をソノラ市長にお渡しし、今回の協会の訪問を機に、ホームステイなどの交流を再開することなどについて、協会と市で要望を行った。また、ホームステイの受入れの実績があり、市の国際交流大使であるトム・ダストンさんに対してもホームステイ再開時の受入れをお願いすることができた。併せて、訪問時に開催されていた市議会に出席し、さらにスピーチも行った。また、市が姉妹都市を締結した1つのきっかけとなっている、ヨセミテ国立公園の視察を行い、霧島・錦江湾国立公園とのスケールの違いを実感した。

◎鹿児島県始良市出身の在サンフランシスコ日本国総領事館の永吉首席領事及び北カリフォルニア県人会の方々と懇談を行った。首席領事からは、鹿児島とサンフランシスコの歴史に加え、サンフランシスコでの霧島や日本の可能性についての貴重な話を伺い、さらに、日本政府の出先機関としての最新情報の提供を惜しまないとの言葉をいただいた。また、北カリフォルニア県人会の出席者の方々は、年代は様々であるが、フェイスブック等を通じて交流を行っているとのことで、ときには、日本や鹿児島に帰郷されることもあるとのことであり、今後の交流に期待を感じた。また、カリフォルニアナパワインの繁栄の礎を築き、カリフォルニアのワイン王と呼ばれる鹿児島県出身の長澤鼎氏の足跡を辿り、過去から現代までカリフォルニア州で活躍する郷土出身の方々との交流や視察を行い、今後に繋げることができた。



ソノラ市集合写真



ソノラ市長



ソノラ市議会会議

霧島市国際交流大使 トム・ダストン さんからのメッセージ

2018年9月に来た霧島市国際交流協会の訪問団を歓迎することができたのは、ソノラ市の人々にとって幸せなことでした。ソノラ市長、市管理者、警察署長、消防局長、コロンビア短期大学学監、音楽交流の提案者が出席しました。妻と私はプライベートレセプションで訪問団にお会いし、互いの紹介やお土産の交換をし、霧島市国際交流協会長の末廣浩二さんは霧島市長からのメッセージを皆に述べました。その後、訪問団は市議会に参加しました。議会において、訪問団の皆さんは、ソノラ市の人々に霧島市と日本についての良い印象を与えました。

私たちの予想通り、訪問団の皆さんはプロフェッショナルで、優しく、知識豊富で、意志の強い人たちでした。私は、ソノラ市職員が訪問団の皆さんについて理解することができ、嬉しかったです。この訪問は、私たちに日本文化についての見識を与え、また日本の皆さんとソノラ市及びアメリカの人々との友好関係を維持したいという意思が伝わってきました。

今後の文化交流で、私たちの市と互いの国の絆が強く結びつき、より強固になるように願っています。お互いから学ぶことがたくさんあり、この友好から得ることも沢山あります。訪問団と意見交換をした時に提案いただいた今後の文化交流については、すでに検討をしています。

姉妹都市の皆さんの平和と幸福を祈念いたします。



左側：ダストンさん
中央：ダストンさんの奥さん

4

霧島市国際交流員からのメッセージ

平成 26 年～平成 29 年

韓国出身 **金 銀瑛 (キム ウニョン)**



私の国際交流員として3年間は、貴協会の会員としての3年間でもあります。

一般的に国際交流員の仕事は、所属している自治体の方々に母国について紹介したり、その自治体のことを海外に知らせたりする内容が多く、「媒介役」に留まってしまいかねません。

しかし、貴協会の外国人会員として参加させていただいた浜下りやレガッタ大会、世界の味ランチ、ナンコ大会、初午祭などの様々なイベントのおかげで、「交流の主体者」となって日本の文化や霧島についての理解を更に深めることができました。これらの経験は今でも感謝しております。

交流は一方的なものではなく、双方で理解し合うもの。

これが国際交流員と似たような仕事をしている今でも心がけている、貴協会では学ばせていただいたことです。

こうして10周年をお迎えになりますのも、真の国際交流を実践している貴協会の皆様の賜物と察します。

これからも、この10年の経験を活かし、ますますのご発展とご躍進をご期待申し上げます。

平成 26 年～平成 27 年

アメリカ出身 **アレクサンダー ジャピロ**



霧島市国際交流協会の多くのイベントに参加させていただいたのですが、最も印象に残っているのはやはりナンコ大会です。日本の他の地域では見たことのないような伝統的遊びで、当大会に参加することにより、400 年以上前から霧島では焼酎がどんなに大切な存在だったのか理解できました。会場ではお酒を飲まなかったのですが、それでも周りの皆さんの温かさを受けてほろ酔い気分になりました。ボロ負けしたのですが、またいつか再チャレンジしたいです。

平成 27 年～平成 30 年

アメリカ出身 **ジョセフ ルンタオ**



霧島市の国際交流員として受任して、国際交流協会が主催するイベントにも参加できたのは、私の人生にとって大切な経験になりました。市民と一緒に暮らして、現地の文化と習慣を体験できて、住まなければ知れない本当の「霧島」が知れました。面白い方言、美しい自然、美味しい食べ物、優しい人々。国際交流員の時はもちろん感謝していましたが、離れてから振り返るとさらに感動します。国際交流員になる前、霧島市は聞いたことさえなかったのですが、お陰様でどこに行っても心の一部が残っている場所になりました。また霧島市に遊びに行く際、皆さんに直接感謝の言葉を伝えたいのですが、とりあえずこのメッセージの中でお伝えします。本当にありがとうございました！

平成 19 年～平成 21 年

アメリカ出身 **ガデリ ボーバック**



春に彩る菜の花畑、夏に楽しむそうめん流し、秋に猪と競う山芋掘り、冬に飲みすぎてしまうお湯割り。皆様から数えきれない程の経験や思い出をいただきました。霧島にいた 2 年間の思い返すと「一期一会」という言葉の意味を教わったような気がします。本当にありがとうございました。

平成 21 年～平成 23 年

アメリカ出身 **ヤマモト アユミ**



霧島市で国際交流員を務めてから早 9 年経ちましたが、在職時には多くの方々に大変お世話になり、ありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

在職中の 2 年間、初午祭や節分祭、龍馬ハネムーンウォークなど、霧島市の代表的なお祭りやイベントに参加させていただき、市民の皆様とたくさんの交流をすることができました。中でも特に印象的だったイベントは、2010 年に開催されたアクティブテフラ・イン・九州でニュージーランドワイカト大学の教授の講座通訳をしたこと、マレーシアマラッカ市のセントフランシス学院からの訪問団を歓迎したことです。霧島市ならではの貴重な経験を、今でも誇りに思っています。

霧島市での様々な経験の中、やはり最も私の心に残ったことは、「人」です。霧島の皆様はとても温かく、人情味にあふれた方々ばかりでした。英会話クラスに毎回通って下さった優秀な生徒さん、いつも元気を与えてくれた園児達との楽しい日々を思い返すと、今でも笑みが浮かび、懐かしく思います。霧島は私にとって、いつまでも第二の故郷です。

霧島市の益々のご発展及び、皆様のご健康とご多幸を、海の向こうから心よりお祈り致します。

平成 26 年～平成 27 年

中国出身 **金 蔚 (キン イ)**



霧島市～国際交流員にならないと知らなかったところです。

霧島市～国際交流員になったら好きになったところです。

霧島市～国際交流員としていつまでも忘れがたいところです。

ここで、噴火している活火山に登る、きらきら光っている蛍を見る、高千穂牧場で一番おいしいミルクソフトを食べる、鹿児島神宮で巫女の身なりをして浜下りする、勝間先生の「和敬清寂」の茶道を楽しむなどのことはすべて私にとって初めてのことでした。霧島を離れてからもう 4 年ぐらい経ちますが、印象的なのは地元の皆様の好意です。職場ではわからないことがあったら、同僚はいつも熱心に教えてくれました。ときには考え方が違うこともありましたが、私の意見に耳を傾けて、皆で一緒に最も合理的な提案を打ち出しました。同僚の皆は仲がよくて、喜びや悲しみや分かち合いました。和やかな職場環境、完璧なイベントを行うための力を合わせて努力する姿は永遠に頭の中に残っています。

霧島では親切な市民たちと一緒に温かい毎日を送りました。病気になった時にお医者さんを予約してくれたこと、道がわからない時に地図を書いてくれたこと、忘れ物があった時に空港に取りに行ってくれたこと、ラーメンを食べたい時に車で連れて行ってくれたこと、山頂が寒かった時にコートを貸してくれたこと、このような美しい思い出がたくさんあります。帰国しても皆様の愛がときどき頭に浮かんでいます。霧島市、またね。

5

交流都市からのメッセージ

上海市嘉定区教育局基礎教育科

陳 妍玮

貴協会は嘉定区と霧島市との間に友好の橋をかけ、両市青少年の深い友情を見守ってきました。

10年の歩みを振り返ると、両市の友好交流の実現は、霧島市国際交流協会の方々のご尽力のおかげです。「国の交わりは民の相親しむに在り」、民の相親しむは青少年から始まります。貴協会が築いた交流の場は、友好訪問を通して、青少年たちを包容、鑑賞、共有の視点から世界を認識することを導き、異なる文化の交流、調和的な共生を推進し、積極的に「人類運命共同体」の構築に貢献されています。

世界の未来は若い世代が握っています。両市の青少年たちが代々受け継がれてきた中日友好の伝承者となり、中日友好が若い世代の中で大いに広がればと心から願っています。中日両国の世々代々に渡る緊密な友好関係の構築と、霧島市国際交流協会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

上海市嘉定区教育局書記

王 曉燕

光陰矢のごとし。花を咲かせた十年、実り豊かな十年。

長年に渡り、貴協会は「中日両国友好交流を推進する」という趣旨のもと、積極的に上海市嘉定区と鹿児島県霧島市両市の友好交流を推進し、両市の人的交流、教育交流、友好関係の構築に大きな役割を果たされました。さらに、貴協会は日本教育界と世界各国（地域）教育界との間の交流と協力に力を入れ、互いに理解と友情を深め、貴市の教育や文化事業の発展に貢献されてきました。

上海市嘉定区は「江南歴史文化名城」であり、古くから「教化都市・礼楽嘉定」と呼ばれています。今年には嘉定区市政800周年を迎える記念すべき年です。そして、現在、嘉定区の教育事業は、伝承の上に革新に励み、積極的に大学や研究所などと連携し、共同運営教育に取り組んでおり、「ハイテク嘉定」「自動車嘉定」「教化嘉定」「健康嘉定」「綺麗嘉定」の活気溢れる、イノベーションの街づくりにまい進しています！

貴協会が設立10周年を迎えたこの素晴らしいときに、我々は両市の幅広い交流が行われることを心より期待しております。両市のさらなる交流と連携を通じて、霧島市と嘉定区の友情を引き継ぐと共に、更に友誼の種を撒き、両市の文化、教育における交流に新たな1ページを記したいと存じます。

元上海市嘉定区人民政府外事弁公室副主任

倪 琴

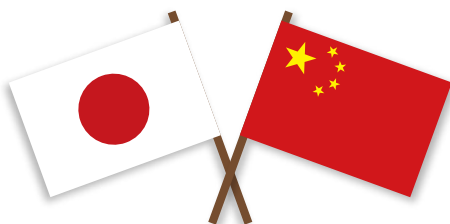
霧島市国際交流協会の方々の弛まぬ努力のおかげで、嘉定区と霧島市の友好交流は著しく発展を遂げました。上海市は、鹿児島県と海を挟んで相対しています。未来に向けて、両市の架け橋である霧島市国際交流協会のご活躍を期待し、両市がより多くの分野で交流が実現すること及び中日友好協力関係が引き続き発展することを心より祈念いたします。

中国陝西省銅川市耀州区对外友好協会

霧島市(旧隼人町)と耀州区の友好交流は20年以上の歴史を有し、この間、両市は政府、協会、企業、文化、教育、スポーツ、青少年交流などの分野で活発な交流を行い、互いに理解を促進し、友情を深め、深厚なる友誼と密接な友好関係を築き、交流に向けた強固な基礎を築き上げました。

特に、霧島市及び霧島市国際交流協会の設立以来、市長、協会長におかれましては、両市の友好関係をとても重視され、自ら訪問団を率いて耀州区を訪れ、我々耀州区人民に深く好い印象を残されました。また、貴市から派遣された青少年友好交流訪問団は耀州人民に大歓迎されました。青少年交流は両市の最も成功した交流項目であり、ホームステイ、学校交流、中日合同パフォーマンス、中日青少年書画展、名所旧跡観光などを通じて、互いに勉強し合い、理解し合い、視野を広げ、深い友情を築いただけでなく、互いの国の文化、風土、生活習慣、地理環境などを知ることができ、人生の経験を豊かにすることができました。青少年交流は、社会から良い反響を受け、両市の学生と保護者たちからも高い評価を受けました。青少年は世界の未来と希望であり、長期に渡る平和と友好の担い手でもあります。科学技術の高度な発展に伴い、私たちは同じ地球という村の民であり、仲良く、誠実に接し合い、豊かな生活を楽しむことが私たちの共通の願いです。手をつなぎ、世界の未来と平和のために最大限貢献されることを祈念いたします。

この場で、長い間、両市の友好交流の展開や友好関係の発展に尽力してきた友人の方々に心から感謝の意を申し上げます!同時に、交流において感動溢れる場面を忘れてはいけません。耀州区の学生や教員たちが整然と並び、訪問団を迎えた場面、対面式で握手やハグをし、互いにプレゼント交換をする心温かい場面、一緒に友誼の象徴である樹木を植え、水をやった場面、学校で英語での会話が盛り上がった場面、ホストファミリーの家族と異国の「息子」「娘」とで食卓を囲む幸せな場面、空港で涙を流しながら抱き合い、別れを惜しむ場面、異国の家族から手紙や贈り物をもらい、感謝の言葉に感動した場面……いずれも私たちの心の中に残っています。明るい未来を迎え、友好交流の新たな1ページを開ける、このような有意義な青少年友好交流が続いてほしいと我々は望んでいます。



6

役員・法人会員一覧

歴代役員一覧 (敬称略)

●平成20年度～平成21年度

会長	桑野 正敬
副会長	(筆頭)森山 輝男/家村 信弘/中堀 清哲
理事	森山 知己→岩井 清司 (H21.4.20 から) 中村 博美/鎌田 善政/小松 初子/西 勇一 佐々木邦廣 上村 拓也→亀井 健一 (H21.4.20 から) 植山 利博/笹山千枝子/山口 馨/林 麗子 木佐木俊春/新町 要紀 松山 誠也/横山富美子 (H21.4.19 まで) 坂口 雄二/緒方 義春 (H21.4.19 まで) 勝間 昭/末廣 浩二/斎藤 武夫/福永 海 郡山 明久→小川 史郎 (H21.4.20 から) 西村新一郎/高田 肥文/上鍋 正光/新田 弘子 山口 剛/脇元 敬 (H21.4.20 から)
監事	若松 高廣/小倉 満保
顧問	前田 終止

●平成22年度～平成23年度

会長	家村 信弘
副会長	(筆頭)中堀 清哲/末廣 浩二/濱田 香織
団体	霧島市副市長 南田 吉文 / 霧島市教育長 高田 肥文 霧島市企画部長 川村 直人 霧島市建設同志会会長 鎌田 善政 鹿児島銀行隼人支店支店長 小川 史郎 →東 洋一郎 (H23.4.22 から) 霧島商工会議所青年部会長 亀井 健一 →岡元 伸一 (H23.4.22 から) 霧島青年会議所理事長 堀之内茂樹 →隈元 鍊 (H23.4.22 から) 霧島市婦人会連絡協議会会長 林 麗子 (H23.4.22 から個人理事) 霧島商工会議所女性部会長 笹山千枝子 始良伊佐法人会国分支部副支部長 新町 要紀 みぞべ西郷どん交流館副会長 木佐木俊春
個人	桑野 正敬/森山 輝男/植山 利博/勝間 昭 西 勇一/西村新一郎/斎藤 武夫/坂口 雄二 松山 誠也/山口 馨
監事	若松 高廣/岸本 博人
顧問	前田 終止

●平成24年度～25年度

会長	家村 信弘
副会長	(筆頭)中堀 清哲/末廣 浩二/濱田 香織
団体	霧島市副市長 南田 吉文 →平野 貴志 (H25.4.17 から) 霧島市教育長 高田 肥文 霧島市企画部長 川村 直人 →中村 功 (H25.4.17 から) 霧島市建設同志会会長 鎌田 善政 鹿児島銀行隼人支店支店長 有馬 慎 霧島商工会議所青年部会長 向井 美奈 →尾方 章弘 (H25.4.17 から) 霧島青年会議所理事長 野村 和人 →竹下圭一郎 (H25.4.17 から) 霧島商工会議所女性部会長 笹山千枝子 始良伊佐法人会青年部会長 西 洋一郎 →始良伊佐法人会会員 芝 幸宏 (H25.4.17 から) みぞべ西郷どん交流館副会長 木佐木俊春
個人	桑野 正敬/森山 輝男/勝間 昭/林 麗子 植山 利博/西 勇一/西村新一郎/斎藤 武夫 松山 誠也/山口 馨
監事	若松 高廣/岸本 博人
顧問	前田 終止

●平成26年度～平成27年度

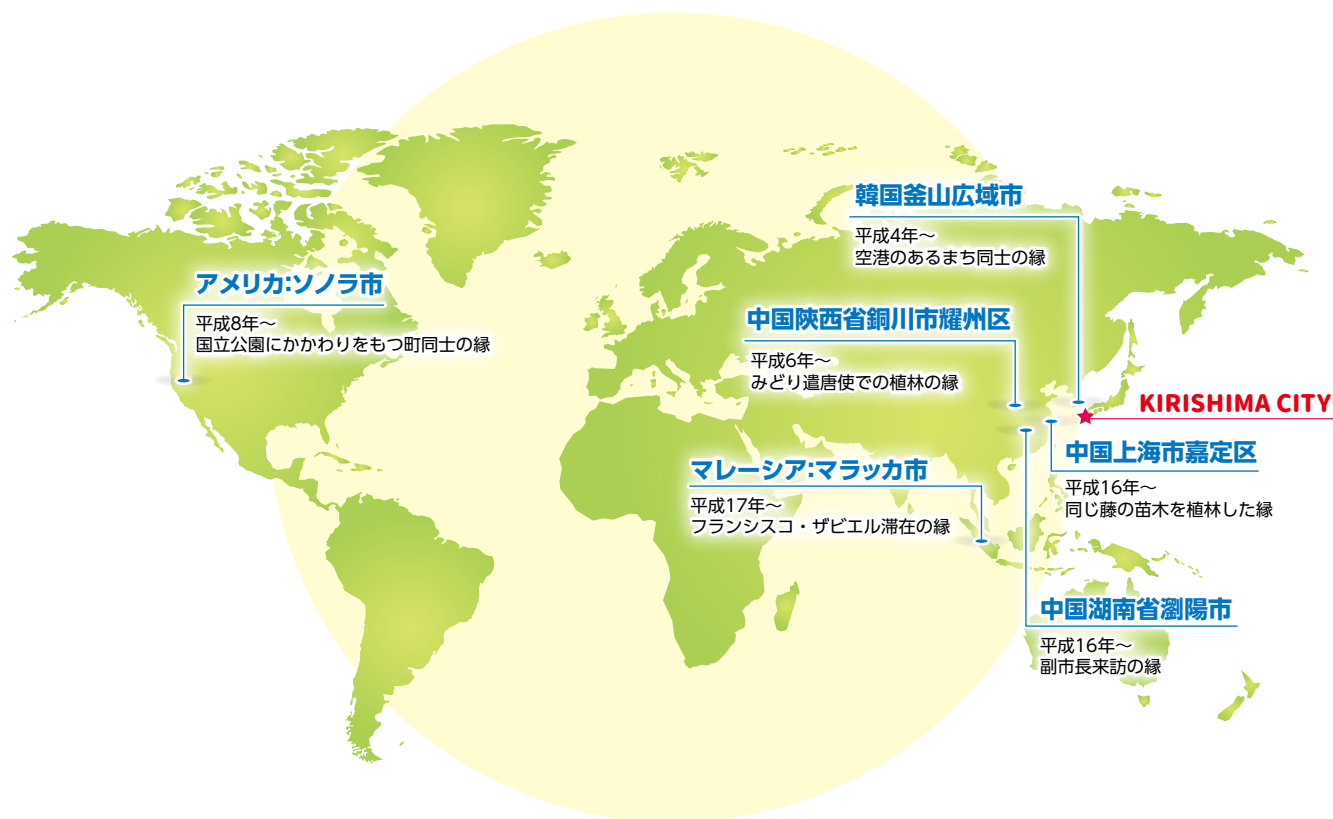
会長	家村 信弘
副会長	(筆頭)中堀 清哲/末廣 浩二/濱田 香織
団体	霧島市副市長 平野 貴志 霧島市教育長 高田 肥文 霧島市企画部長 中村 功 →塩川 剛 (H27.4.15 から) 霧島市建設同志会会長 鎌田 善政 鹿児島銀行隼人支店支店長 有馬 慎 →光岡 信昭 (H27.4.15 から) 霧島商工会議所青年部会長 上野 賢明 霧島青年会議所理事長 竹下圭一郎 →坂口 崇介 (H27.4.15 から) 霧島商工会議所女性部会長 笹山千枝子 始良伊佐法人会会員 芝 幸宏 みぞべ西郷どん交流館副会長 木佐木俊春
個人	桑野 正敬/森山 輝男/勝間 昭/林 麗子 西 勇一/西村新一郎/斎藤 武夫/黒木 孝一 濱田 和直
監事	若松 高廣/岸本 博人
顧問	前田 終止

歴代役員一覧 (敬称略)

●平成28年度～平成29年度					●平成30年度～平成31年度				
会長	末廣 浩二				末廣 浩二				
副会長	(筆頭)中堀 清哲／岸本 博人／濱田 和直				(筆頭)中堀 清哲／岸本 博人／濱田 和直				
理事	団体				団体				
	霧島市副市長		平野 貴志		霧島市副市長		山口 剛		
	霧島市教育長		高田 肥文		霧島市教育長		高田 肥文		
	霧島市企画部長		塩川 剛		→瀬戸上 護 (H30.8.1 から)		有馬 博明		
	→市民環境部長久保 隆義 (H29.4.14 から)								
	霧島市建設同志会会長		鎌田 善政		霧島市建設同志会会長		鎌田 善政		
	鹿児島銀行隼人支店支店長		室尾 敏行		鹿児島銀行隼人支店支店長		厚地 洋樹		
	霧島商工会議所青年部会長		田口 暢彦		霧島商工会議所青年部会長		宮田 順次		
	→長里 紀亨 (H29.4.14 から)		室谷 厚志		霧島青年会議所理事長		→藏元 国明 (H31.1.1 から)		
					霧島青年会議所理事長				
	霧島青年会議所理事長		室谷 厚志		霧島商工会議所女性部会長		笹山千枝子		
	霧島商工会議所女性部会長		笹山千枝子		始良伊佐法人会会員		堀之内茂樹		
	始良伊佐法人会会員		堀之内茂樹		みぞべ西郷どん交流館副会長		木佐木俊春		
みぞべ西郷どん交流館副会長		木佐木俊春							
個人	個人				個人				
	桑野 正敬／森山 輝男／家村 信弘／勝間 昭	桑野 正敬／森山 輝男／家村 信弘／勝間 昭				西 勇一／斉藤 武夫／黒木 孝一／濱田 香織			
	林 麗子／西 勇一／西村新一郎／斉藤 武夫	西 勇一／斉藤 武夫／黒木 孝一／濱田 香織				芝 幸宏／有村 幸光			
	黒木 孝一／濱田 香織／芝 幸宏／有村 幸光	芝 幸宏／有村 幸光							
監事	若松 高廣→若松 進介 (H29.4.14 から)				若松 進介／小松 秀亮				
顧問	前田 終止→中重 真一 (H29.11.27 から)				中重 真一				

法人会員一覧 (五十音順)

(公社) 始良伊佐法人会	霧島市建設同志会	(学) 都築教育学園 第一工業大学
(株) 鹿児島銀行 国分支店	霧島商工会議所	(株) トヨタ車体研究所
(株) 鹿児島銀行 隼人支店	霧島商工会議所女性部	(有) 中村タクシー
かごしま空港 36 カントリークラブ	霧島商工会議所青年部	西自動車(株)
鹿児島空港ビルディング(株)	(公社) 霧島青年会議所	(株) 西村
かごしま空港ホテル	(有) 九面屋	隼人金融クラブ
独立行政法人 国立高等専門学校機構	(株) コーアガス日本	日当山醸造(株)
鹿児島工業高等専門学校	国際ソロプチミストあいら	(株) ホテル京セラ
鹿児島東部ヤクルト販売(株)	国分酒造(株)	(有) 前田土木技術
鎌田建設(株)	国分電機(株)	松下建設(株)
(株) 鎌田工業	(株) 佐々木組	みぞべ西郷どん交流館
(株) 九州タブチ	(有) サザンエステート	南九州ケーブルテレビネット(株)
霧島経済同友クラブ	サンホテル国分	南建設(株)
霧島高原ビール(株)	志学館大学	南日本ガス(株)
(一社) 霧島ゴルフクラブ	(有) 芝自動車整備工場	(有) 山下酒店
(公社) 霧島市観光協会	(株) 末広	若松高廣税理士事務所



霧島市国際交流協会 10周年記念誌

The History of The Kirishima City International Exchange Association

発行 霧島市国際交流協会
平成31年3月